



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

### 1 整備提案の概要について

整備提案名	初黄・日ノ出町地区に集いの広場を！ 階段広場をつくる
提案グループ名	初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 チームひろば
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	中 区 黄金町・1丁目
施設整備の概要	当地区では、かつての違法風俗店街というイメージの払しょくを目指し、地元、警察、行政、大学が一体となりまちづくりを進めてきました。その中で、まちの将来像を考えるまちづくりワークショップにて多く出された「集いの広場が必要である」という声をもとに、京浜急行の高架下を整備の候補地として、「かいだん広場」を提案します。当地区において広場を整備する意味は、その広場でイベントなどを実施し、賑わいを創出していくことが安でき全・安心のまちづくりに寄与します。またこの広場は、地域内外の住民交流拠点となることで、まちづくり活動がより一層活性化していく原動力になると考えています。この広場は舞台の上には階段というボキャブラリーを用意することで、そこが客席となったり、展示スペースとなったり、様々な場面において広義に活躍することができます。さらに、朝市や地域のイベント（夏祭りや打ち水大作戦）などで活用することで地域の集いの場となり、また、ミニコンサートや演劇等も開催することができます。この広場は平面上に階段があるというシンプルな構成としており、夜間は照明をつけることで、広場空間自体が照明となる機能を併せ持っています
整備助成金申請 予定額	500 万円
設計及び整備の スケジュール	平成22年12月時点 かいだん広場の形状及び素材等の検討を行い整備費概算を算出 平成23年2月～3月 整備のための準備（業者選定、設計意図伝達） 4月～6月 選定業者及び「チームひろば」による施工を行う 7月 竣工、地域関係者含めお披露目会の実施 8月～11月 黄金町バザール2011開催と連携した広場利用開始 12月～ 上記利用を受けて、今後の年間利用計画の立案

### 2 創意工夫について

計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)	私たちが提案している「かいだん広場」で最も重要な要素は、オープンな広場に様々な活動が喚起されるような「かいだん」があることです。この「かいだん」は活動に対して非常に有効です。観客席や舞台として、また、朝市での利用やアート作品も展示できます。また、「かいだん広場」は、オープンであることから、地域のこどもの遊び場として活用されることも期待されています。当地域では、協議会やNPOが主体となり様々なイベントを実施しています。その活動に連動し広場を有効に活用していきたいと考えています。「オープンな広場」と「かいだん」というシンプルな構成が「この場所でこんなことがしたい！」という思いを想起させるのだと考えています。
--	---

<p><b>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</b></p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>かいだん広場の整備に際して、その全体を工業者に発注するのではなく、部分的に「チームひろば」が率先して工事を行います。階段の土台部分や広場の土台部分といった構造に関する箇所については施工業者に発注し、安全性と耐久性を確保します。一方、仕上げ部分であるデッキの張り合わせや塗装などについては、施工業者の指導のもと「チームひろば」が中心となって施工していきます。また、広場の活動をさらにサポートする様々なアイテム（椅子やテーブルとして使うことができる台のようなもの）などもチームが自ら製作したいと考えています。チームのメンバー以外にも、当地域には、様々な職能を持った方が多く在住されていることもあり、その強みを生かして、製作の過程で協力を得ながら完成させたいと考えています。</p>
<p><b>整備した施設の維持管理・運営<sup>注5)</sup>計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</b></p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>かいだん広場の維持管理については協力団体であるNPO法人黄金町エリアマネジメントセンターと連携していきたいと考えています。当地区は未だ安全なまちとは言いきれない部分もあり、管理は特に夜間が重点課題です。夜間は照明を付け明るさを確保する一方で防犯カメラ等の設置等も検討していきます。ランニングコストに関しては、広場を利用する団体等より徴収し、その補填に回すことを想定しています。また、維持に関しては、広場の素材と深く関連します。現在広場は、活動イメージを喚起し易くするためと安全性を考慮し、木材を用いてつくる予定です。素材についてはその費用対効果も含め検討を重ねた結果、経年劣化した部分のメンテナンスが容易なよう木材を選定しました。これは高架下という立地も考慮し、限定的な劣化を見越した結果です。このように、数年に一度、木材の部分的な交換や再塗装といった行為をすることで、「常に気に掛ける広場」「地域で見守る広場」づくりを目指していきたいと考えています。運営計画では、年間のスケジュールを作成し、NPO、協議会、または地域の活動と連動した計画を立案します。現在、想定されていることは、週一回の朝市や月に一度、東小学校の児童とのワークショップ開催、映像作品展示や地域のイベント（餅つき会や打ち水イベントに関連したワークショップ）、桜まつりの会場などです。特に来年度実施される黄金町バザール2011において、周知の意味も含め、実験的な試みを行っていききたいと考えています。ここで、得られた広場運営に必要なノウハウを基に年間スケジュール立案に反映させていきます。</p>

### 3 実現性について

<p><b>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</b></p>	<p>当地域では、まちづくりワークショップ等を通じて、マスタープランの作成や、街並み景観のルールづくり、高架下の活用案検討などについて意見交換を繰り返し行ってきました。そのワークショップにおいて、「かいだん広場」の提案を議題において意見交換会も実施しました。また、NPOが管理する施設に入居しているアーティストにも意見を求めました。これらの意見より、「様々な活動をイメージできる」として好評価を得ています。また、初黄町、日ノ出町の両町内会において提案内容を説明し、理解を得ています。今後も広場の活用計画を作成する際に意見を求めることで、さらなる合意形成を図っていきます。また、土地使用に関しては、高架下の敷地を所有する京急と横浜市が協議を行い合意を得たことを受けて、広場づくり実現に向け関係機関を含め合意形成を図りながら進めています。</p>
---	---

### 4 公共性について

<p><b>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入</b></p>	<p>高架下の広場の必要性については、過去2年間実施されたまちづくりワークショップ内で多く出された「集いの広場が必要」という声をもとに、今年度はそれらを受けて「チームひろば」が立ち上がり、地域が描いたマスタープランの実現に向けて整備提案を行いました。当地区が違法風俗店街であった時期を経て、まちの再生に取り組んでいる現在、ひとつの地域課題は高架下に張り巡らされた鋼板と小規模店舗（元違法風俗店舗）が立ち並ぶ風景です。これは、見通しが悪く、特に夜間は通る人を不安にさせるなどといった状況を生んでいます。そこに今回提案する「かいだん広場」のようなオープンな</p>
--	--

<p>してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>イメージの広場がつくられることは安全・安心なまちづくりを掲げる当地区に対して高架下の開放感や明るさの提供など、まさに安全性に寄与することができると考えています。また、「かいだん広場」に続くように高架下に新たなスタジオ（集会所）を建設する動きが出ており、地域では、かいだん広場と一体的な活用ができるよう検討を重ねてきました。このように高架下を中心にまちのイメージ改善に向けて地域は動いています。</p>
--	---

## 5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<p>整備コスト縮減策として、最も大きな効果を得る要因は工種を絞ることで、建設コストは一般的に工種が増えることで、費用が上がる傾向にあります。このかいだん広場はその大部分を大工工事の範囲でつくることができます。広場部分は木造住宅と同様の軸組みとなっています。広場の床部分のを木軸とすることで、コスト削減ができるとともに、転倒した際の衝撃を緩和するなど安全面にも配慮しています。また、かいだん部分も木軸となっており、斜めの梁を用い、そこに根太を通すことで階段を支える構造となっており、これも大工工事で可能な仕事です。これは、綿密な設計者との協議を経て図面化してもらいました。その中でも、寸法にも配慮し、木造の住宅等で利用される寸尺間で数値化し、材料に無駄のない合理的な構造を用いています。この広場の特徴である「シンプルな構成」は、素材も工種もシンプルにすることを可能としました。このことにより、整備コストは大幅に縮減できています。</p>
--	--

## 6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>当地域では、「チームひろば」が所属する協議会やNPOを中心に「安全・安心なまちづくり」「アートによるまちづくり」を掲げ活動を展開しています。このほかにも、大岡川を中心に兩岸の町内会が連携して実施している大岡川桜まつりや町内会行事などもあり、年間を通じて活動的な地域といえます。これらのように、近傍の地域も含め、様々な地域から訪れる来街者との交流機会が多くあるにも関わらず、交流するスペースがないことが地域課題として挙げられます。この広場の整備場所として想定している敷地は、初黄町内会と日ノ出町町内会の境にありまた、前面の道路を通じて大岡川の対岸である若葉町や伊勢佐木町ともつながることができるまちの要衝にあります。この整備をきっかけとして、現在当地域で展開されている活動を軸として、交流拠点として活用されることで、コミュニティ同士のつながりが強化されるとともに、来街者と当地域との交流がより一層促進されると考えています。</p>
---	---

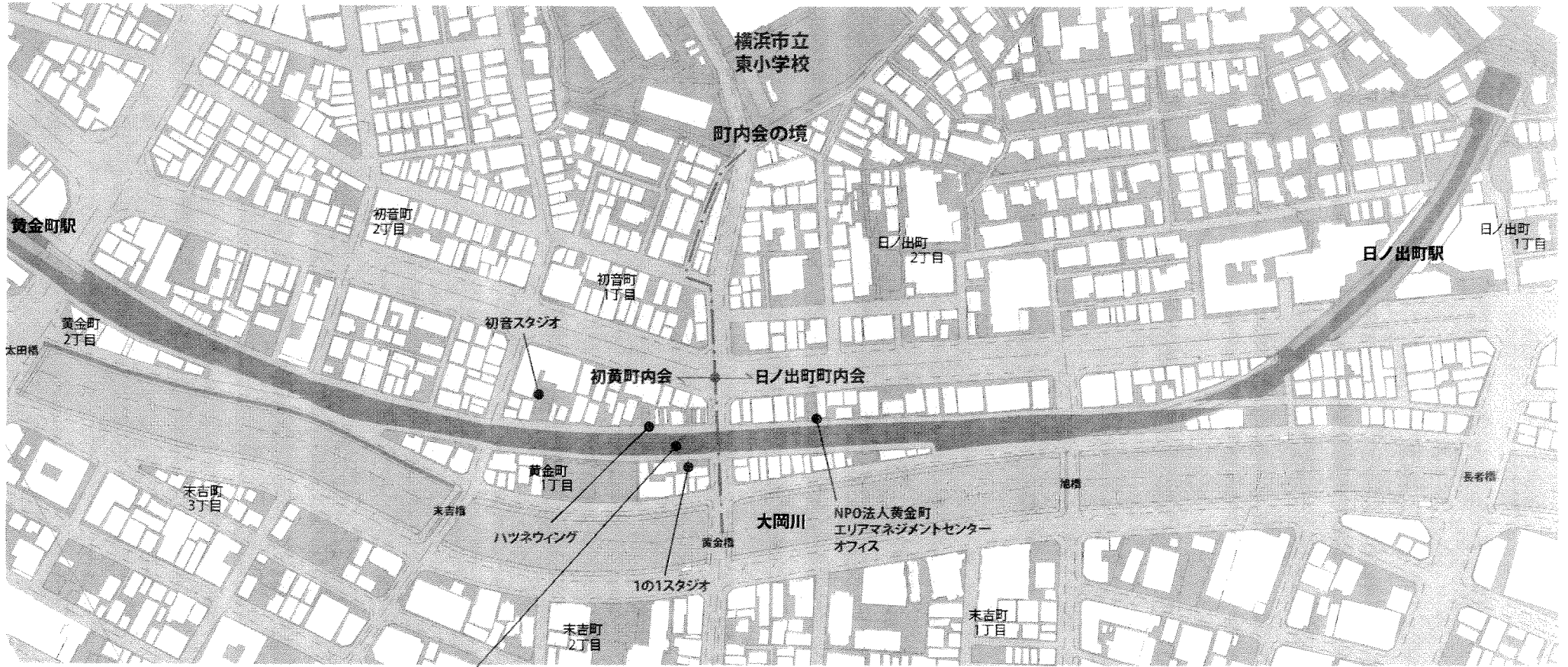
## 7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>広場の整備予定地には、現在高架下の半分が開放され高架下広場として試験的に活用が行われています。特に黄金町バザール2010では、チーム広場のメンバーの一人が実施している朝市や納涼祭と称して日ノ出町の飲食店によるグルメ市などが開催されました。また、アーティストによるワークショップも行われました。この実験的な利用は多くの可能性を示してくれました。例えば、朝市は、毎週火曜日に建物内で開催していましたが、広場に場所を移して実施したところ、普段とは違う客層の方が来場したということもあり、今後も広場での開催に可能性を示してくれました。また、グルメ市でも多くの来場者が訪れ開始後1時間で完売する店もあり、食を通じたイベントも今後の可能性を感じさせる結果となりました。これらのように賑わいを創出することや、活気を感じさせてくれるイベントを通じてまちの再生に寄与するような広場へと成長してほしいという願いをこめてこの「かいだん広場」を提案します。</p>
-------------------------------------	---

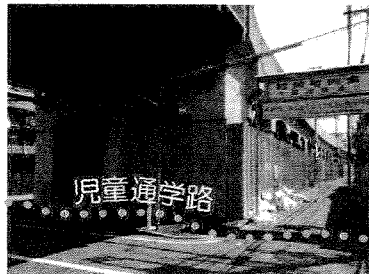
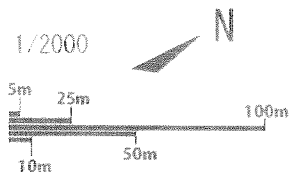
記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

初黄・日ノ出町地区に集いの広場を！  
～ “かいだん” から始まる “ひろば” づくり～



「かいだん広場」整備予定地



NPO 管理施設  
(1の1スタジオ)



アーティストによるワークショップ



イベント時のひとコマ



地域交流会



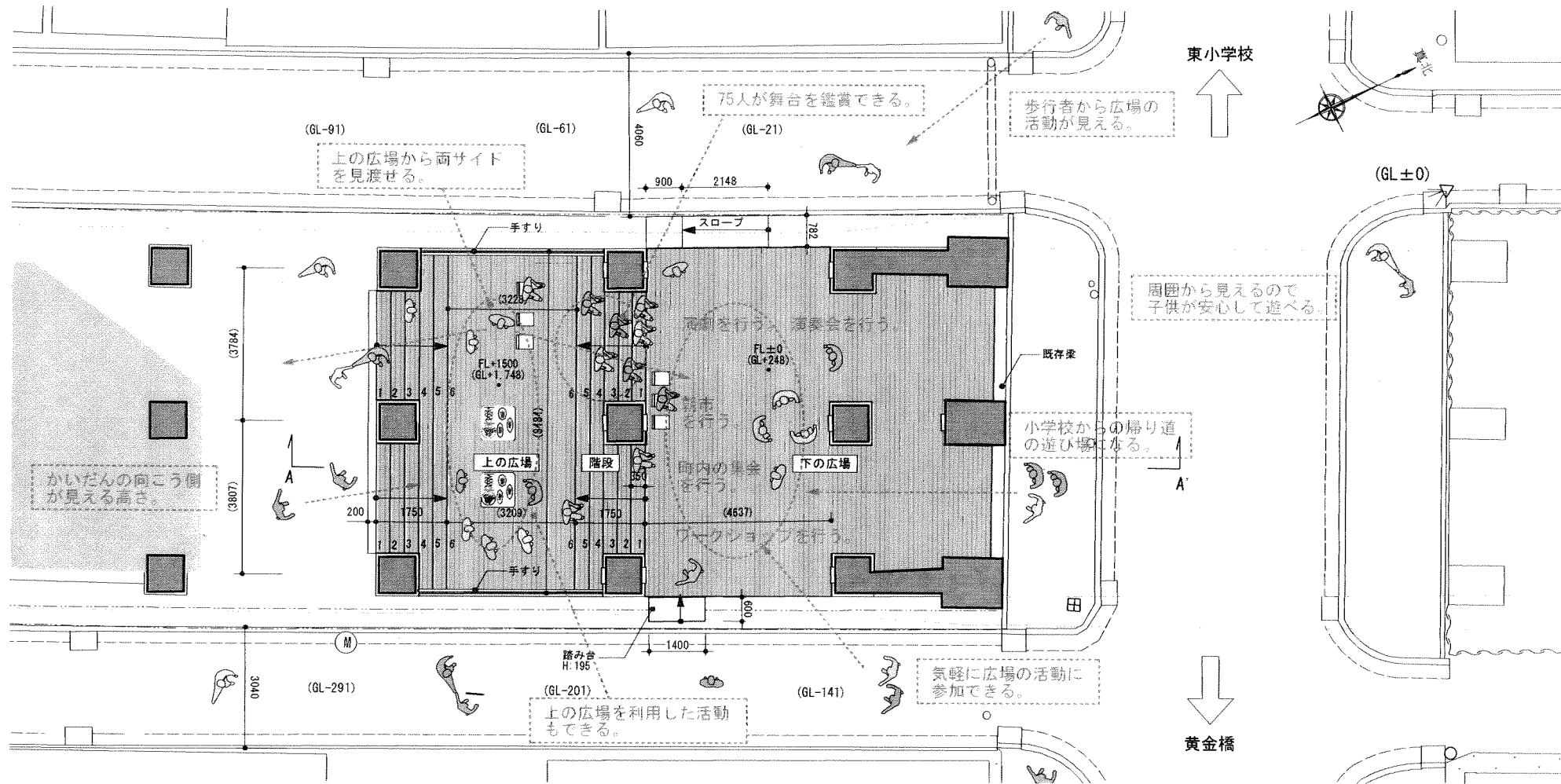
古本市場



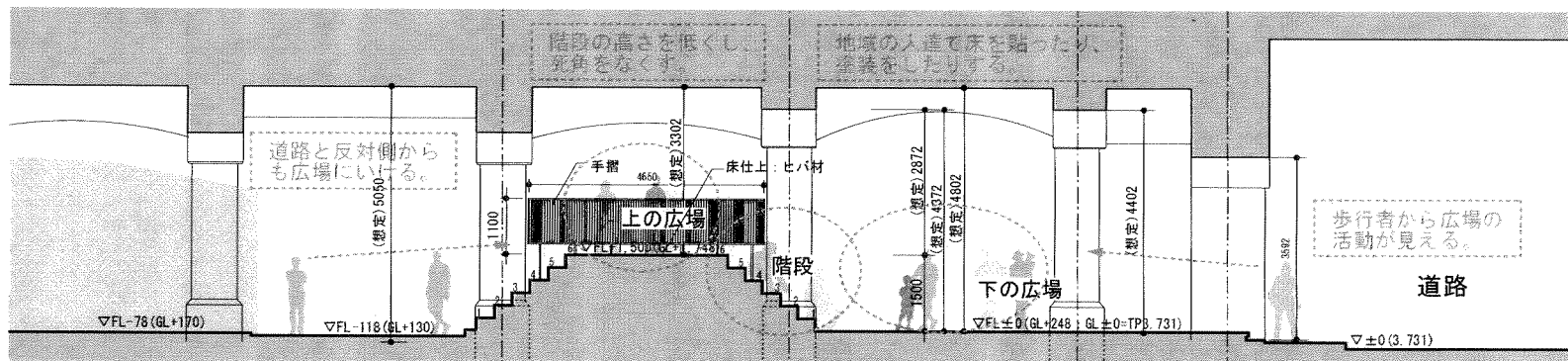
映画鑑賞会



桜まつりフリーマーケット



平面図 1/100



断面図 1/100



# ヨコハマ市民まち普請事業

## 想定整備費用内訳書

### ※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
基礎コンクリート工事	階段下布基礎工事	52.5㎡	¥16,000	¥840,000	
	広場部分基礎工事	67.5㎡	¥5,500	¥371,250	
木工事	階段部分木工事	52.5㎡	¥18,000	¥945,000	
	広場部分木工事	67.5㎡	¥24,000	¥1,620,000	
手すり工事	手すり製作・取り付け工事 スチール製 錆止め塗装	2ヶ所	¥267,000	¥534,000	
電気工事	照明・ラック 取付工事	9ヵ所	¥30,000	¥270,000	
塗装工事	塗料代及び塗装用具 塗料は OSMO （クリア）を 想定	10 缶 + 一式	¥20,170 2.5L缶 1L=12㎡ 2回塗り	¥220,000	塗装は地域住民が 参加する 木軸部：塗り回数 2度とし作業日数 仕上げ：塗り回数 3度とし作業日数1 日～2日 5人工/日を想定
デッキ工事	材料費のみ ヒバ材を想定	120㎡	¥11,200	¥1,344,000	デッキ張合せは地 域住民が参加する 作業日数：8日 5人工/日を想定
合 計				¥6,144,250	

■完成予想図(模型写真)



①俯瞰からいたん広場を見る。



②前面道路からいたん広場を見る。



③下の広場に入る。



④上の広場にのぼる。



⑤側面道路からいたん広場を見る。



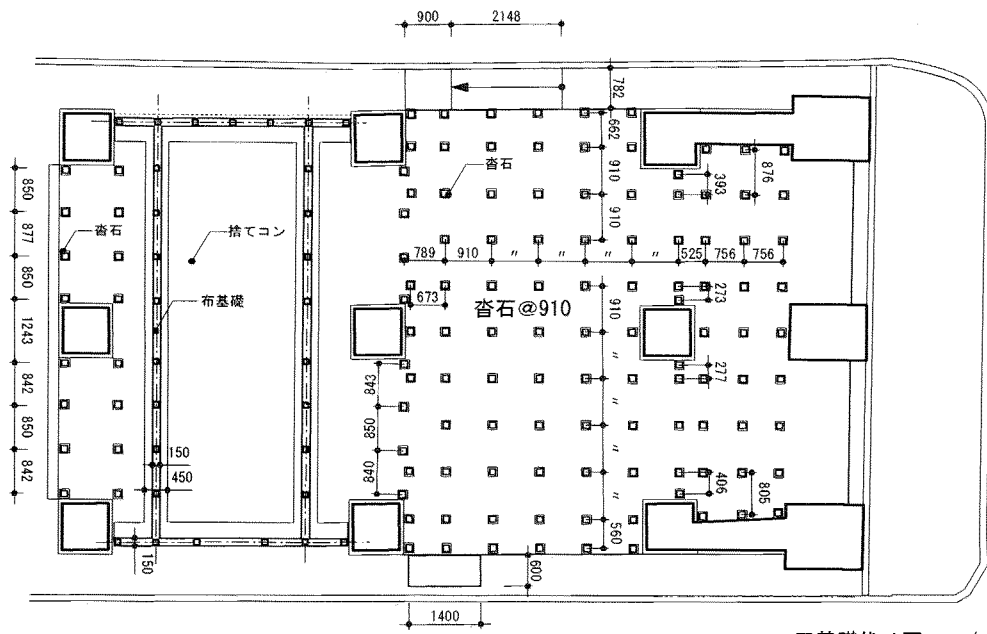
⑥下の広場の反対側から見る。



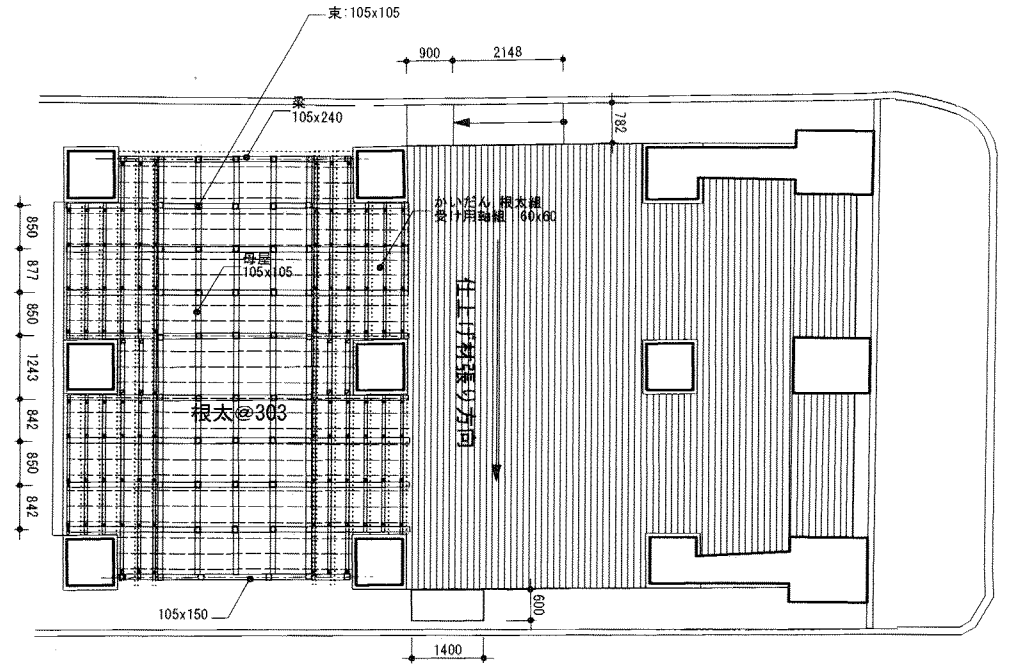
⑦道路の反対側から広場へいく。



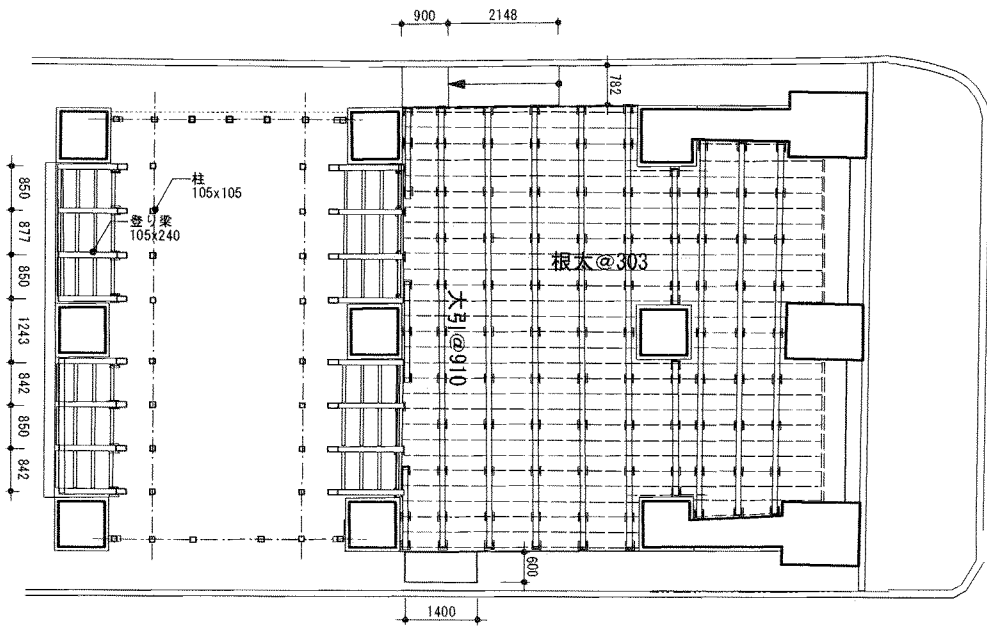




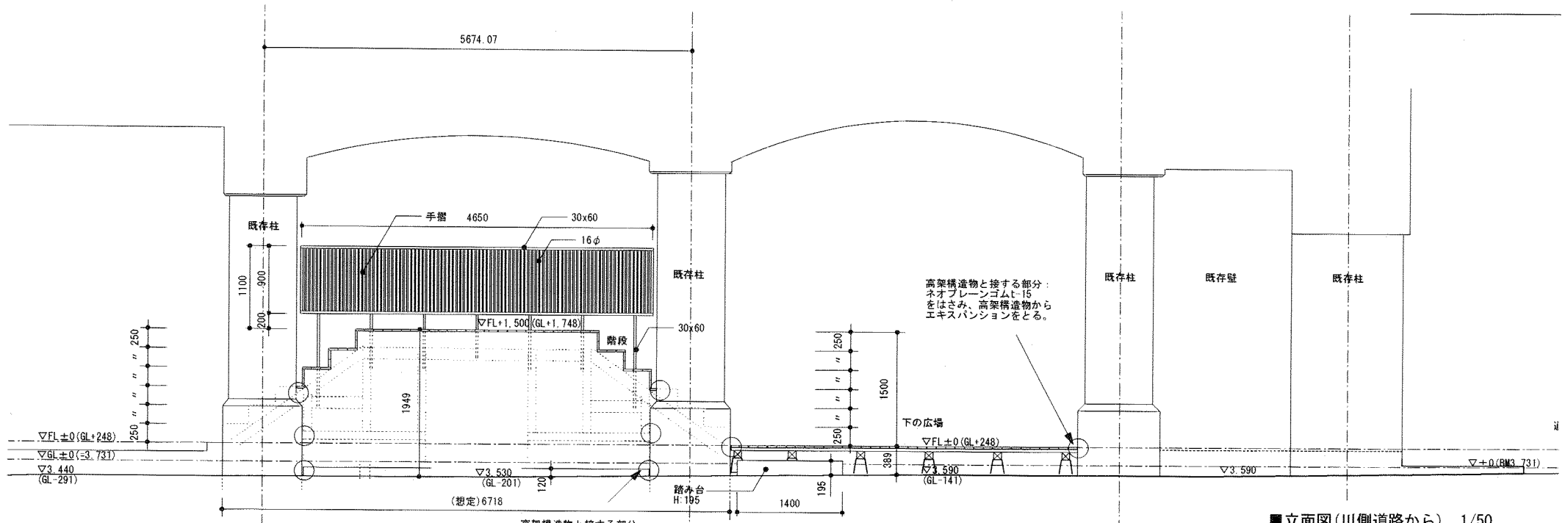
■基礎伏せ図 1/100



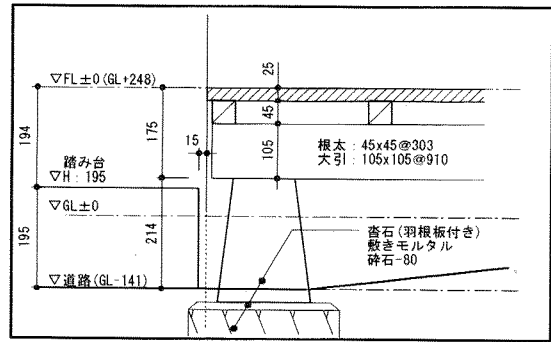
■床伏せ図-2 1/100



■床伏せ図-1 1/100

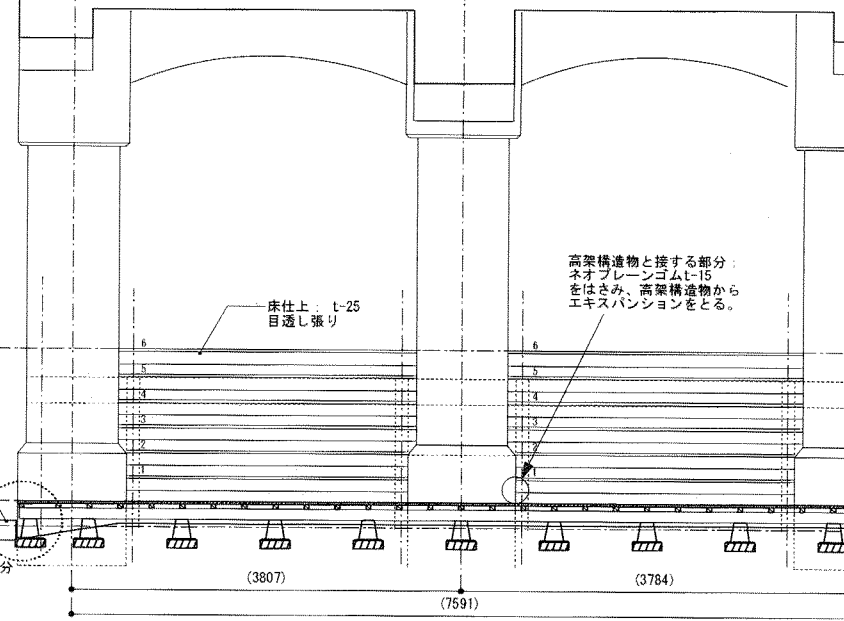


■立面図(川側道路から) 1/50

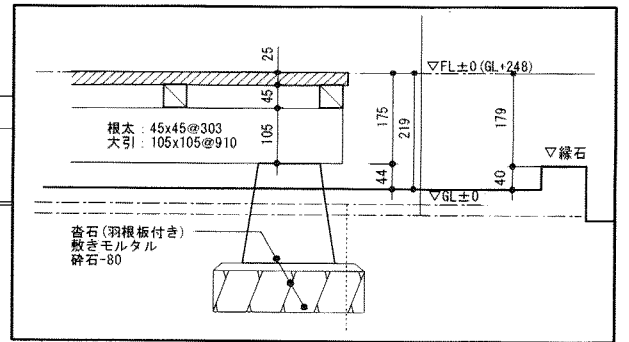


■A部分詳細 1/10

高架構造物と接する部分：  
ネオプレンゴムt-15  
をはさみ、高架構造物から  
エキスパンションをとる。  
(○印部分)

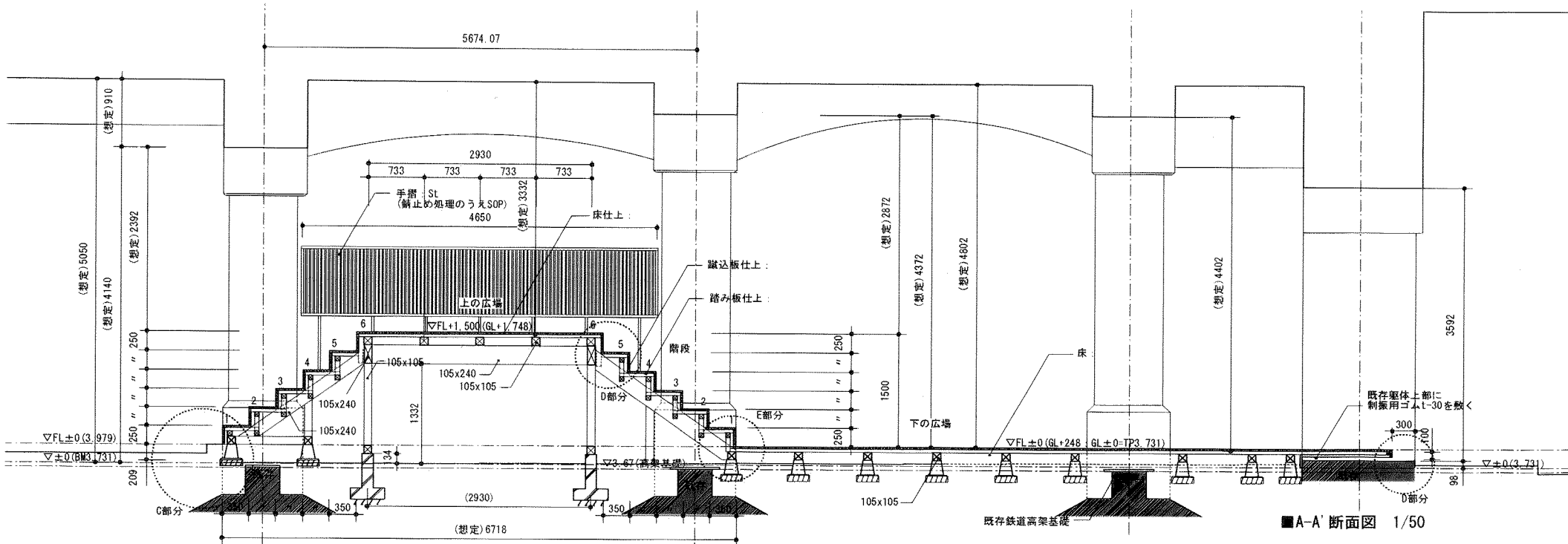


高架構造物と接する部分：  
ネオプレンゴムt-15  
をはさみ、高架構造物から  
エキスパンションをとる。

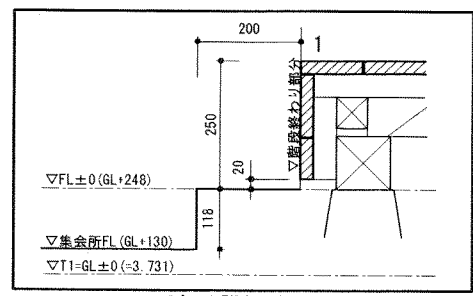


■B部分詳細 1/10

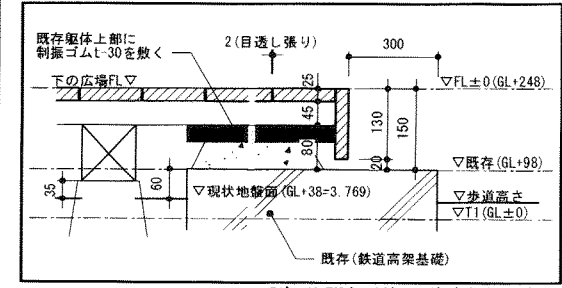
■立断面図(下の広場から) 1/50



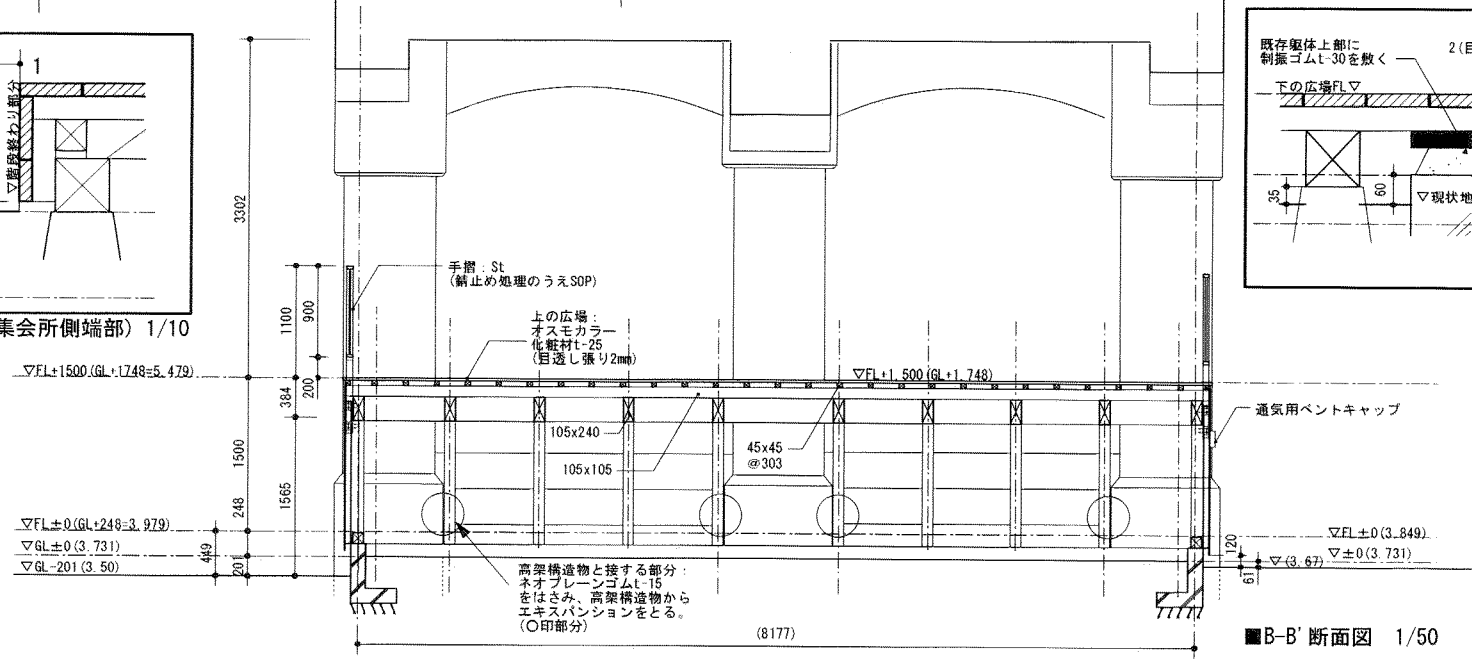
■A-A' 断面図 1/50



■C部分詳細 (集会所側端部) 1/10



■D部分詳細 (前面道路側) 1/10



■B-B' 断面図 1/50

初黄・日ノ出町地区に集いの広場を！  
 ～“かいだん”から始まる“ひろは”づくり～

### ①原寸大の模型による検証

原寸大の階段を部分的に製作し、高さや座り方の確認・検討を行った。  
 特に階段の高さの検討は、5段、7段、9段で行い、それぞれ比較した。  
 この検討を経て、階段の形状や段数を決め、また、座り方から踏面の幅を決めた。



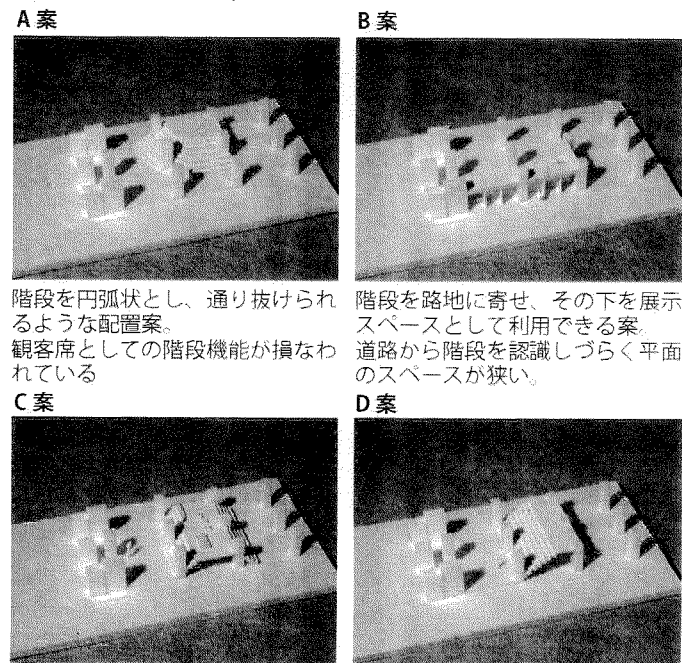
**パターン 01**  
 段数 5段  
 長所 裏表のない形  
 短所 多少存在感が足りない

**パターン 02**  
 段数 7段  
 長所 象徴性のある形  
 短所 階段の裏側との繋がりが無い

**パターン 03**  
 段数 9段  
 長所 存在感のある形  
 短所 恐怖感のある高さ

### ②模型による階段の配置検証

特に階段の形状や配置については、模型を用いて検討を行った。  
 ここでは特にかいだん広場の奥にできる集会所との関係性をどのように構築するかや、周辺の路地及びNPO管理施設との連携についてその可能性の検証を行った。



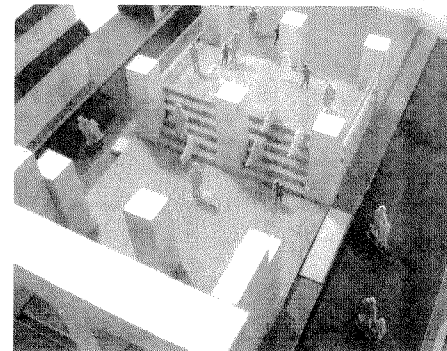
**A案**  
 階段を円弧状とし、通り抜けられるような配置案。  
 観客席としての階段機能が損なわれている

**B案**  
 階段を路地に寄せ、その下を展示スペースとして利用できる案。  
 道路から階段を認識しづらく平面のスペースが狭い。

**C案**  
 階段を向こう側へ降りられるような形状。  
 高架と直交するバスとの連続性が生まれると同時に階段の上にも舞台ができる。

**D案**  
 階段を9段にし、象徴性を増した形状。  
 象徴的であるが、高さについてはモックアップで検討し、不採用。

### ③検証を踏まえて出た結論

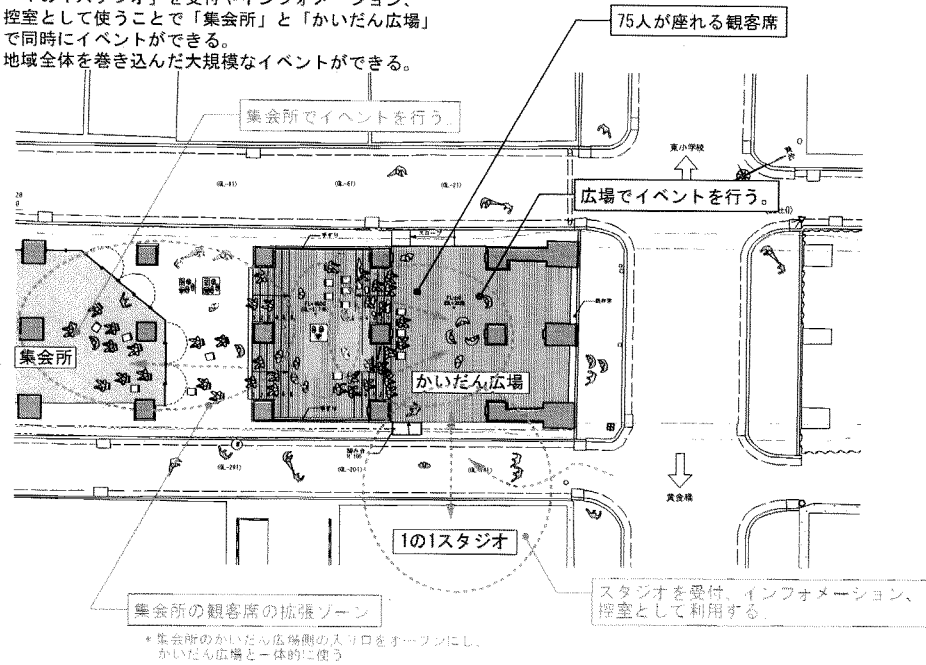


段数は6段とし、階段を挟んで行き来ができるような形状で上記C案を周回している。また、7段の時の階段の象徴性を残しつつ、見通しのある風景をつくるために6段という高さに設定した。



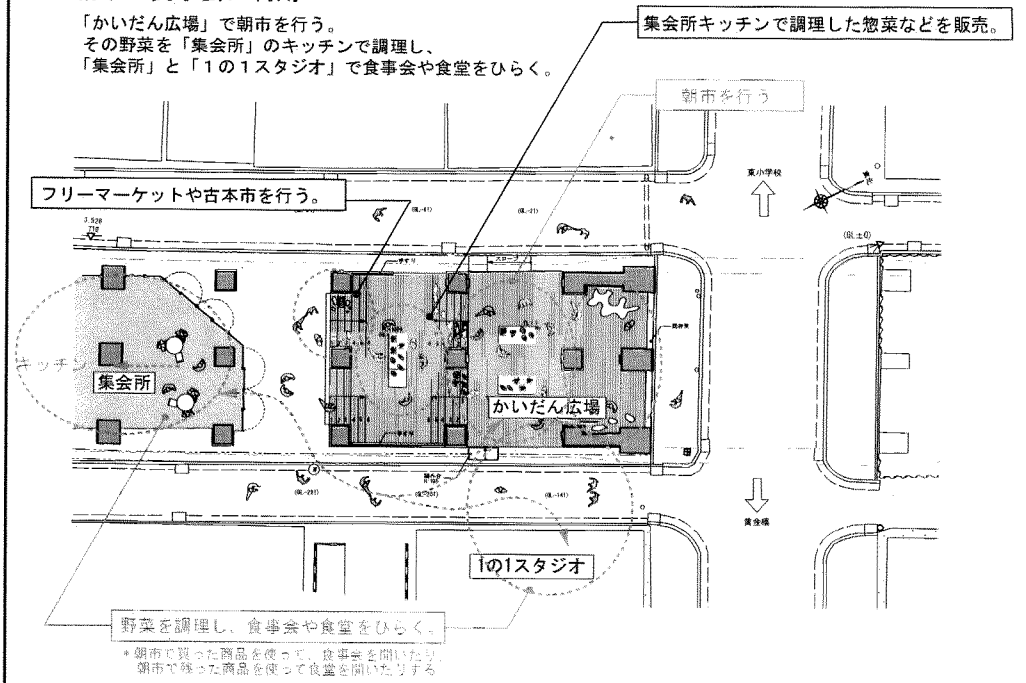
## ■大規模なイベントに利用

「1の1スタジオ」を受付やインフォメーション、控室として使うことで「集会所」と「かいだん広場」で同時にイベントができる。地域全体を巻き込んだ大規模なイベントができる。



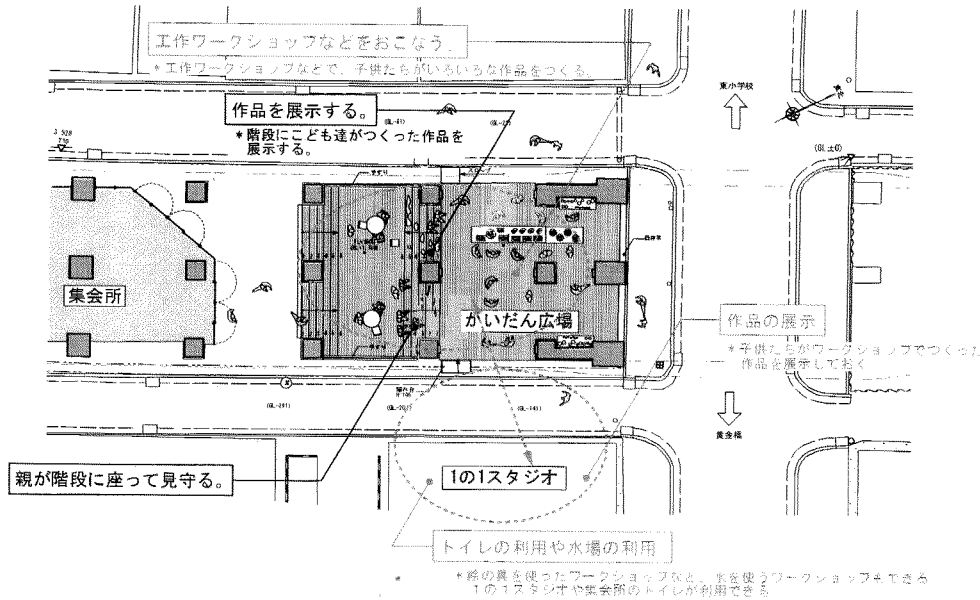
## ■朝市+食事に利用

「かいだん広場」で朝市を行う。その野菜を「集会所」のキッチンで調理し、「集会所」と「1の1スタジオ」で食事会や食堂をひらく。



## ■アーティストのワークショップに利用

「1の1スタジオ」のトイレや水場を利用して「かいだん広場」でアーティストのワークショップができる。



## ■上の広場を舞台に利用

「集会所」をバックヤードに使い、「上の広場」で演劇や落語を行う。「1の1スタジオ」をチケット販売や受付に利用する。

